

<児童文化財に関する部会研究>

(1) 子どもの音楽接触に関する実態調査

<部会長> 研究第8部長 高橋 種 昭
 <部会員> 研究第8部 星 美智子
 湯川 礼子
 玉川大学 高城 義太郎
 中野区社会教育主事 矢 萩 操
 世田谷区緑丘中学校 椎 崎 篤
 豊島区駒込小学校 佐久間 賢介
 × × ×
 厚生省児童家庭局育成課 荻 須 隆 雄

I 目 的

現代の青少年の生活は音楽と密接に結びついている。勉強しながら深夜放送を聞き、海や山へのレジャーにもラジカセを携帯し、最近では街を歩きながらウォークマンを耳にしている。音楽へのながら姿勢は、かれらのライフスタイルになっているといえる。これへの傾斜は中学生時代といわれるが、現実には子どもたちは、どのような音楽に接しているのか、小学生と中学生を比較しながら、音楽接触状況の実態を把握し、問題点を解析するのが本研究の目的である。

II 方 法

1) 対 象

東京都の地域差を考慮して地域を分散して小学校・中学校各三校を選び、小学校は5年生、中学校は2年生のそれぞれ2クラスづつを対象とした。有効回答数は小学

校245名、中学校219名、計464名である。

2) 手 続 き

質問紙法を用い、学校を通して回収するため、無記名で記入する方法をとる。質問項目は、家族、子ども部屋の有無、音楽関係の器機の所有、音楽を聞く状態、音楽の好み、音楽活動など23問である。(付録1)。

3) 日 時

1979年11月から、子どもの音楽接触の事例報告および検討をおこない、12月から1980年1月にかけて質問項目を作製し、3月調査を実施した。

III 結 果

1 家族構成

1) 核家族か複合家族かをみると、第1表のように、核家族が大部分で小学生80%、中学生70%になっている。

第1表 家族構成

(%)

		男	女	合計
小学校 5年	東久留米市立南町小	40	36	76
	荒川区立大門小	51	49	100
	豊島区立駒込小	25	44	69
	計	116	129	245
中学校 2年	新宿区立落合第二中	38	35	73
	墨田区立本所中	45	30	75
	世田谷区立緑丘中	37	34	71
	計	120	99	219

	小学校			中学校		
	男	女	計	男	女	計
核家族	92 (79.3)	104 (80.6)	196 (80.0)	79 (65.8)	75 (75.8)	154 (70.3)
複合家族	24 (20.7)	25 (19.4)	49 (20.0)	38 (31.7)	22 (22.2)	60 (27.4)
無答	-	-	-	3 (2.5)	2 (2.0)	5 (2.3)
計	116 (100.0)	129 (100.0)	245 (100.0)	120 (100.0)	99 (100.0)	219 (100.0)

2) 家族の人数は、2人家族が小・中学校あわせて10家族、もっとも多いのが9人で1家族あり、両親と子ども二人の家族がもっとも多く、平均家族数は4.7人である。

平均家族数
小学校 4.71人
中学校 4.76人

3) 兄弟姉妹のある子とない子の割合は、第2表に示すように、90%の子は同胞があり、いわゆる「ひとりっ子」は、1割弱になっている。

第2表 同胞の有無 ()内%

	小学校			中学校		
	男	女	計	男	女	計
同胞あり	106 (91.4)	115 (89.4)	221 (90.2)	109 (90.9)	89 (89.9)	198 (90.4)
同胞なし	10 (8.6)	14 (10.9)	24 (9.8)	10 (8.3)	8 (8.1)	18 (8.2)
無答	-	-	-	1 (0.8)	2 (2.0)	3 (1.4)
計	116 (100.0)	129 (100.0)	245 (100.0)	120 (100.0)	99 (100.0)	219 (100.0)

2 子供部屋

家庭で音楽に接するばあい、子ども専用の部屋、あるいは子どもたちの部屋があるかないかは、子どもの音楽環境として大きな差があると思われる。したがって、子ども部屋についての質問を挿入した。この結果をみると、小学生と中学生では明らかに差が出ており、個室を持っている小学生が26%であるのに対し、中学生は52%と、小学生の2倍になっている。小学生の4分の1、中学生の半分は個室を持っている。同胞といっしょの子ども部屋を持つものは、小学生50%弱、中学生30%弱である。また、自分専用の部屋も子どもたちの部屋もないものは、小学生18%、中学生9%である。

第3表 子ども部屋の有無 ()内%

	小学校			中学校		
	男	女	計	男	女	計
個室あり	24 (20.7)	39 (30.2)	63 (25.7)	64 (53.3)	49 (49.5)	113 (51.6)
子供部屋あり	63 (54.3)	55 (42.6)	118 (48.2)	29 (24.2)	35 (35.4)	64 (29.2)
ない	18 (15.5)	25 (19.4)	43 (17.6)	13 (10.8)	6 (6.1)	19 (8.7)
無答	11 (9.5)	10 (7.8)	21 (8.6)	14 (11.7)	9 (9.1)	23 (10.5)
計	116 (100.0)	129 (100.0)	245 (100.0)	120 (100.0)	99 (100.0)	219 (100.0)

3 音楽を受容する器械

家庭で音楽を聞くものとして、テレビ、ラジオ、ラジ

カセ、ステレオ、テーブルデッキ、にわけて、家庭にあるかないか、何台あるかをしらべた(第4表-1~5)。

1) テレビの所有状況

テレビのある家庭は、小・中学校ともに約98%であり、本人専用のテレビをもつものは小学校女子が12%、男子17%、中学校では男女とも2割近く(男19%、女18%)になっている。

第4表-1 テレビ所有状況 ()内%

テレビ	小学校			中学校		
	男	女	計	男	女	計
あ	111 (95.7)	128 (99.2)	239 (97.6)	117 (97.5)	97 (98.0)	214 (97.7)
な	2 (1.7)	1 (0.8)	3 (1.2)	3 (2.5)	2 (2.0)	5 (2.3)
無	3 (2.6)	0 (0.0)	3 (1.2)	0	0	0
計	116 (100.0)	129 (100.0)	245 (100.0)	120 (100.0)	99 (100.0)	219 (100.0)

2) ラジオ所有状況

ラジオのある家庭は95%、ない家庭が3%弱である。テレビのない家庭が2%弱であったのと比較すると、ラジオよりテレビの方がやや多いということができよう。

第4表-2 ラジオ所有状況 ()内%

	小学校			中学校		
	男	女	計	男	女	計
あ	110 (94.8)	122 (94.6)	232 (94.7)	118 (98.3)	90 (91.0)	208 (95.0)
な	4 (3.5)	4 (3.1)	8 (3.3)	2 (1.7)	3 (3.1)	5 (2.3)
無	2 (1.7)	3 (2.3)	5 (2.0)	0	6 (6.1)	6 (2.7)
計	116 (100.0)	129 (100.0)	245 (100.0)	120 (100.0)	99 (100.0)	219 (100.0)

3) ラジカセ所有状況

ラジカセは、小・中学生の家庭のほとんどが所有しているといつてよく小学生80%弱、中学生90%弱である。中学生と小学生の家庭を比較すると、中学生の方が10%多く、テレビやラジオとちがひ、小学生と中学生に差がみられる。

4) ステレオ

ステレオの所有をみると、中学生の家庭80%、小学生の家庭65%で、ラジカセよりは少ないが大部分の家庭にステレオがあるといえる。小学生より中学生に多く、その差は15%で、ラジカセよりステレオの方が開きが大きい。

星 他：子どもの音楽接触に関する実態調査

第4表-3 ラジカセ所有状況 ()内%

	小学校			中学校		
	男	女	計	男	女	計
あ	91	98	189	110	85	195
る	(78.4)	(76.0)	(77.1)	(91.6)	(85.8)	(89.1)
な	22	25	47	8	5	13
い	(19.0)	(19.4)	(19.2)	(6.7)	(5.1)	(5.9)
無	3	6	9	2	9	11
答	(2.6)	(4.7)	(3.7)	(1.7)	(9.1)	(5.0)
計	116	129	245	120	99	219
	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)

第4表-4 ステレオ所有状況 ()内%

	小学校			中学校		
	男	女	計	男	女	計
あ	78	80	158	95	80	175
る	(67.2)	(62.0)	(64.5)	(79.2)	(80.8)	(79.9)
な	29	44	73	20	10	30
い	(25.0)	(34.1)	(29.8)	(16.7)	(10.1)	(13.7)
無	9	5	14	5	9	14
答	(7.8)	(3.9)	(5.7)	(4.2)	(9.1)	(6.4)
計	116	129	245	120	99	219
	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)

第4表-5 テープデッキ所有状況 ()内%

	小学校			中学校		
	男	女	計	男	女	計
あ	37	35	72	65	38	103
る	(31.9)	(27.1)	(29.4)	(54.2)	(38.4)	(47.0)
な	57	77	134	40	34	74
い	(49.1)	(59.7)	(54.7)	(33.3)	(34.4)	(33.8)
無	22	17	39	15	27	42
答	(19.0)	(13.2)	(15.9)	(12.5)	(27.3)	(19.2)
計	116	129	245	120	99	219
	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)

第4表-6 本人専用の所有状況 ()%

	小学校				中学校			
	男	女	計	男女差 $X^2(P<.05)$	男	女	計	男女差 $X^2(P<.05)$
テレビ	20	15	35		23	18	41	
	(17.2)	(11.6)	(14.3)		(19.2)	(18.2)	(18.7)	
ラジオ	47	23	70	*	82	41	123	*
	(40.5)	(17.8)	(28.6)		(68.3)	(41.4)	(56.2)	
ラジカセ	28	21	49		75	62	137	*
	(24.1)	(16.3)	(20.0)		(62.5)	(62.6)	(62.6)	
ステレオ	8	10	18		32	15	47	
	(6.9)	(7.8)	(7.3)		(26.7)	(15.2)	(21.5)	
テープデッキ	10	3	13	*	28	12	40	*
	(8.6)	(2.3)	(5.3)		(23.2)	(12.1)	(18.3)	

5) テープデッキ
テープデッキになると、他の受容器機より所有家庭は少なくなり、中学生50%弱、小学生30%弱である。中学生の家庭が小学生より20%多く、年齢による差が明らかである。テープデッキになると、中学生と男女差がかなりはっきりあらわれ、男子の方が女子より16%も多くなっている。

6) 本人専用の音楽受容器機の所有
第4表-6により、本人専用の音楽受容器機の所有状況を見ると、a. テレビは小学生15%弱、中学生20%弱、b. ラジオは小学生30%弱、中学生55%強、c. ラジカセ、小学生20%中学生60%強、d. ステレオは小学生7%、中学生22%、e. テープデッキは小学生5%、中学生18%である。いずれも中学生の方が多く、小学生を1として中学生の割合をみると、テレビ1.3倍、ラジオ1.8倍、ラジカセ3.0倍、ステレオ3.1倍、テープデッキ3.6倍となっている。そして、中学生はラジオ、ラジカセはふたりにひとり、テレビ、ステレオ、テープデッキ5人にひとり所有している。

男女差をみると、ラジオ、テープデッキは小・中学生、ラジカセとステレオは中学生に有意差がみられ、いずれも男子の方が専用受容器機をもつものが多い。

4 テレビの音楽番組

子どもたちがいつも聞いているテレビの音楽番組を第3位まであげると第5表のようになっている。「ザ・ベストテン」が小・中学校の男女ともに一位になり、小学生60%弱、中学生70%の子が常時視聴しているといえる。2位になると中学生は男女ともに「夜のヒットスタジオ」、小学生は男子が「紅白対抗歌合戦」、女子は「紅白歌のベストテン」にわかれる。2位はいずれも20%内外であり、圧倒的に「ザ・ベストテン」が好まれているのがわかる。

第5表 いつも聞くテレビの音楽番組(3位まで)

小 学 校			中 学 校		
男	女	計	男	女	計
① ザ・ベストテン (63.8) 74	① ザ・ベストテン (53.5) 69	① ザ・ベストテン (58.4) 143	① ザ・ベストテン (69.2) 83	① ザ・ベストテン (72.7) 72	① ザ・ベストテン (70.8) 155
② 紅白対抗歌合戦 (10.3) 12	② 紅白歌のベストテン (25.6) 33	② 紅白歌のベストテン (18.0) 44	② 夜のヒットスタジオ (15.8) 19	② 夜のヒットスタジオ (23.2) 23	② 夜のヒットスタジオ (19.2) 42
③ 紅白歌のベストテン (9.5) 11	③ スター誕生 (10.9) 14	③ ビッグベストテン (9.0) 22	③ 金曜娛樂館 (5.0) 6	③ 紅白歌のベストテン (9.1) 9	③ 紅白歌のベストテン (6.4) 14
④ ビッグベストテン (9.5) 11			④ 名曲アルバム (5.0) 6	④ レッツゴーヤング (9.1) 9	
人数 116	人数 129	人数 245	人数 120	人数 99	人数 219

5 深夜放送・FM放送

ラジオの深夜放送は小学生ではわずかに1~2%の子が聞いているにすぎないが、中学生では男子20%、女子10%が「よく聞く」と答えており、「時々聞く」を含めると、男子63%、女子48%である(第6表-1)。FM放送では、小学生男子7%、女子4%が「よく聞」いており、中学生になると男子45%、女子20%が「よく聞く」に回答している。なお、「時々聞く」を含めれば、中

学生の男子80%、女子68%と中学生の大部分のものがFM放送を聞くことがわかる(第6表-2)。深夜放送・FM放送ともに、小学生、中学生いずれも男子の方が多く接しており、ラジオ深夜放送は中学生、FM放送では小学校・中学校に男女差が顕著である。

6 音楽を聞くとき

1) 毎日音楽を聞く子どもは、小学生では20%内外であるが、中学生になると約半数の子になる(第7表-1)。小・中学校ともに有意な男女差はみられない。
2) 一日の音楽を聞く平均時間は、平日と休日ではかなり差があり、小学生は約30分、中学生は約1時間休日に多く音楽をきいている。また、小学生と中学生では、時間の差があり、平均時間をみると平日ではほ30分、休日

第6表-1 ラジオの深夜放送をきくが ()内%

	小学校			中学校		
	男	女	計	男	女	計
よくきく	3 (2.6)	1 (0.8)	4 (1.6)	24 (20.0)	10 (10.1)	34 (15.5)
ときどききく	20 (17.2)	12 (9.3)	32 (13.1)	51 (42.5)	37 (37.4)	88 (40.2)
きかない	92 (79.3)	115 (89.2)	107 (43.7)	44 (36.7)	51 (51.5)	95 (43.4)
無答	1 (0.9)	1 (0.8)	2 (0.8)	1 (0.8)	1 (1.0)	2 (0.9)
計	116 (100.0)	129 (100.0)	245 (100.0)	120 (100.0)	99 (100.0)	219 (100.0)

第6表-2 FM放送をきくか ()内%

	小学校			中学校		
	男	女	計	男	女	計
よくきく	8 (6.9)	5 (3.9)	13 (5.3)	54 (45.0)	18 (18.2)	72 (32.9)
ときどききく	37 (31.9)	24 (18.6)	61 (24.9)	42 (35.0)	49 (49.5)	91 (41.6)
きかない	30 (60.3)	97 (75.2)	167 (68.2)	23 (19.2)	30 (30.3)	53 (24.2)
無答	1 (0.9)	3 (2.3)	4 (1.6)	1 (0.8)	2 (2.0)	3 (1.3)
計	116 (100.0)	129 (100.0)	245 (100.0)	120 (100.0)	99 (100.0)	219 (100.0)
男女差	P < .05			R < .05		

第7表-1 毎日音楽をきくか

	小学校			中学校		
	男	女	計	男	女	計
毎日きく	21 (18.1)	28 (21.7)	49 (20.0)	69 (57.5)	49 (49.5)	118 (53.9)
ときどききく	73 (62.9)	78 (60.5)	151 (61.6)	33 (27.5)	32 (32.3)	65 (29.7)
無答	22 (19.0)	23 (17.8)	45 (18.4)	18 (15.0)	18 (18.2)	36 (16.4)
計	116 (100.0)	129 (100.0)	245 (100.0)	120 (100.0)	99 (100.0)	219 (100.0)

第7表-2 音楽をきく時間

	小学校			中学校		
	男	女	計	男	女	計
平日	平均 63.5分 標準偏差 48.25	79.0 48.65	72.3 48.80	106.6 66.35	116.1 67.51	108.5 65.47
休日	平均 106.0分 標準偏差 97.68	102.5 65.33	104.0 80.71	182.6 96.97	170.8 87.67	177.2 92.79

星 他 子どもの音楽接触に関する実態調査

で1時間10分、中学生の方が多くなっている。また、標準偏差値でも明かなように、個人人の音楽を聞く時間にはかなりの開きがある。なお、この平均時間は、音楽を聞かないものを除いた平均値である。(第7表-2、第1・2図)

3) 音楽を聞く状態。主にどのようにして音楽を聞くのかをたずねたが、小・中学生とも「何もせず」に音楽を聞くのが圧倒的に多かった(小学生50%、中学生58%)。この他に小学生では「テレビをみながら」「寝床で」「遊びながら」「勉強しながら」と分散している。中学生は2位は「寝床で」が43%と多く、3位「遊びながら」26%、4位「勉強しながら」21%になっている。音楽を聞く状態は小・中学生ともに男女ほぼ似た傾向を示している(第7表-3)。

第7表-3 主にどんなふうにして音楽をきくか

()内%

	小学校			中学校		
	男	女	計	男	女	計
勉強しながら	16 (13.8)	20 (15.5)	36 (14.7)	31 (25.8)	15 (15.2)	46 (21.0)
寝床で	30 (25.9)	18 (14.0)	48 (19.6)	56 (46.7)	37 (37.4)	93 (42.5)
食事をしながら	17 (14.7)	17 (13.2)	34 (13.9)	11 (9.2)	6 (6.1)	17 (7.8)
テレビを見ながら	31 (26.7)	32 (24.8)	63 (25.7)	15 (12.5)	11 (11.1)	26 (11.9)
遊びながら	15 (12.9)	22 (17.1)	37 (15.1)	31 (25.8)	26 (26.3)	57 (26.0)
何もせず	65 (56.0)	58 (45.0)	123 (50.2)	70 (58.3)	56 (56.6)	126 (57.5)
無答	6 (5.2)	4 (3.1)	10 (4.1)	2 (1.7)	3 (3.0)	5 (2.3)
その他	5 (4.3)	12 (9.3)	17 (6.9)	9 (7.5)	21 (21.2)	30 (13.7)
人数	116	129	245	120	99	219

第7表-4 勉強しながら聴く理由

理由	小学校	中学校	計
気分がのる、やる気がでる	13	11	24
能率があがる、静かだといらいらする	12	19	31
夜、淋しいから	5	5	10
聴きたいし宿題があるから	4	1	5
なんとなく	2	4	6
周囲の音を消すため	—	2	2
時間の経過を知るため	—	1	1
専用のテレビがないから	1	—	1

勉強しながら音楽をきくものにその理由をたずねた。

その結果は、このようになっている。すなわち、全体では「音楽があると勉強の能率があがる、静かだとイライラする」という答えが1位、つぎは「音楽があると気分がのって勉強できる」、3位「夜ひとりて淋しいから」となっている。小学生のばあいは1位と2位が入れかわって、「気分がのる」の方が「能率があがる」より上になっている。なお、中・小学校とも男女おなじ傾向である。(第7表-4)

4) 誰と音楽をきくか

音楽をきくとき誰ときくことが多いかをたずねた。その結果を「一人」「友だち」「家族」にわけて整理したのが第7表-5である。小学生は半数以上が「家族」と一緒であり、「一人」は43%であるのに比べ、中学生になると「一人」が85%、「家族」15%、「友だち」10%となる。中学生では男女差が有意に出ており、男子は「一人」91%、「友だち」13%、「家族」9%になっている。

第7表-5 誰ときくか

()内%

	小学校			中学校		
	男	女	計	男	女	計
一人できく	53 (45.7)	53 (41.1)	106 (43.0)	109 (90.8)	78 (78.8)	187 (85.4)
友達と	2 (1.7)	10 (7.8)	12 (5.0)	16 (13.3)	7 (7.1)	23 (10.5)
家族と	63 (54.3)	77 (59.7)	140 (57.1)	11 (9.2)	23 (23.2)	34 (15.5)
その他	—	—	—	1 (0.8)	—	1 (0.5)
無答	5 (4.3)	2 (1.6)	7 (2.9)	1 (0.8)	3 (3.0)	4 (1.8)
人数	116	129	245	120	99	219
男女差 X^2				P < .05		

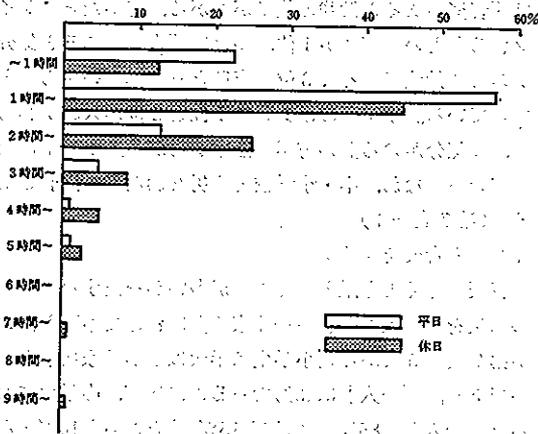
7) レコード、カセットの所有量

レコードとカセットの平均所有量を示すと第8表のようになる。レコード、カセットともに全くもっていないものから100以上所有しているものまで、その偏差は大きい。レコード、カセットどちらも小学生が10内外(レ

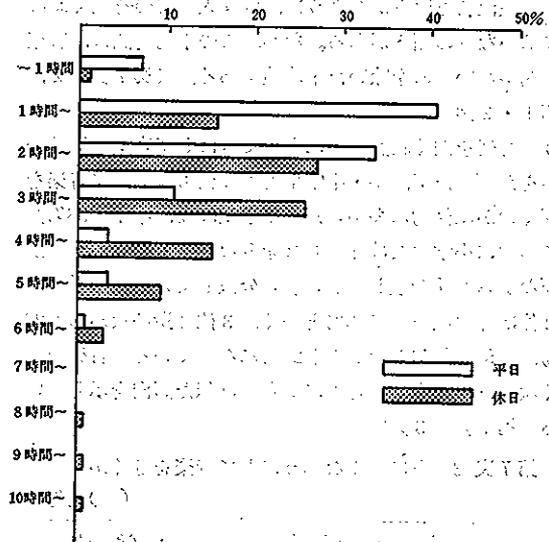
第8表 レコードカセット所有量

	小学校			中学校		
	男	女	計	男	女	計
レコード	10.5	12.5	11.6	25.1	16.8	20.6
標準偏差	13.37	14.88	14.21	30.75	16.19	26.41
カセット	8.6	6.6	7.5	22.0	13.0	18.0
標準偏差	12.04	8.52	10.34	24.91	11.27	20.03

第1図 音楽をきく時間 小学校



第2図 音楽をきく時間 中学校



コード11.6, カセット7.5)で中学生になるとその倍の所有量(レコード20.6枚, カセット18個)である。中学生では男女差がはっきりしており, 男子の方がレコードは女子の1.5倍, カセット1.7倍と多くなっている。

8 家で使う楽器

家で使う楽器をしらべたが, 上位3位のものを示すと第9表のようになる。小学生は「笛」が男女とも多く1位で, 計では60%以上になっている。2位は「ハモニカ」13%, 「ピアノ」13%と少なくなり, 男子では2位「ハ

モニカ」10%, 3位「ピアノ」4%と, とくに少ない。中学生では上位3位が男女で, 「ピアノ」「ギター」「笛」と分散している。

9 好きな曲・好きな歌手

好きな曲, 好きな歌手の5位までを表示したものが第10-1, -2である。これで見ると, 好きな曲と好きな歌手は重複し, 好きな歌手の歌っている曲が好きであ

第9表 家で使う楽器

小 学 校					中 学 校						
男		女		計	男		女		計		
笛	65 (56.0)	笛	88 (68.2)	笛	153 (62.4)	ギター	26 (21.7)	ピアノ	29 (29.3)	ピアノ	48 (21.9)
ハモニカ	11 (9.5)	ピアノ	26 (20.2)	ハモニカ	32 (13.1)	笛	15 (12.5)	ギター	10 (10.1)	ギター	36 (16.4)
ピアノ	5 (4.3)	オルガン	24 (18.6)	ピアノ	31 (12.7)	ピアノ	9 (7.5)	笛	10 (10.1)	笛	25 (11.4)
人数	116		129		245	人数	120		99		219

第10表-1 好きな曲

小 学 校					中 学 校						
男		女		計	男		女		計		
① 大都会	37	① 大都会	47	① 大都会	87	① 大都会	9	① さよなら	18	① 贈る言葉	26
② 贈る言葉	33	② 贈る言葉	40	② 贈る言葉	73	② 贈る言葉	9	② 贈る言葉	17	② さよなら	26
③ TOKIO	20	③ 異邦人	22	③ 異邦人	30	③ さよなら	7	③ 大都会	13	③ 大都会	24
④ 銀河鉄道999	12	④ 春ラララ	8	④ TOKIO	27	④ Let it be	6	④ なごり雪	9	④ なごり雪	18
⑤ 異邦人	7	⑤ ぐるみ割り人形	8	⑤ 銀河鉄道999	15	⑤ 秋止符	5	⑤ 秋止符	6	⑤ 秋止符	11
⑥ 運命	7										

第10表-2 好きな歌手

小 学 校			中 学 校		
男	女	計	男	女	計
① クリスタル キング 43	① クリスタル キング 43	① クリスタル キング 89	① アリス 14	① A B B A 17	① アリス 31
② ゴダイゴ 28	② ゴダイゴ 30	② ゴダイゴ 58	① イエロマジック ① オーケスト 14	② アリス 16	② A B B A 27
③ 海援隊 26	③ 西城秀樹 22	③ 海援隊 44	② クリスタル キング 10	③ オフコース 14	③ クリスタル キング 22
④ 沢田研二 18	④ 石野真子 22	④ 西城秀樹 35	② A B B A 10	④ さだまさ し 13	④ ゴダイゴ 20
⑤ 西城秀樹 13	⑤ 久保田早紀 19	⑤ 久保田早紀 24		⑤ ゴダイゴ 12	④ オフコース 20
	④ 山口百恵 19			⑥ イルカ 12	

り、好きな曲を歌っている歌手が好きということが出来る(第10表-3)。なお、これらの曲や歌手は、子どもたちがいつもみているテレビの歌番組のトップである「ザ・ベストテン」に入っている曲が多く、その密着の様子を示している。調査日前3週間の「ザ・ベストテン」の10曲はつぎのようになっている。「ザ・ベストテン」の曲は長くて1~2カ月で次々と変わって新しい曲が登場する。中学生のあげている「なごり雪」は、7~8年前にコーラスグループ「かぐや姫」が歌い、その後イルカが歌って数年になる。またビートルズの「Let it be」は、10年以上前のものであり、他の曲とは異り、持続して好まれている曲といえる。また、小学生にみられる「銀河鉄道999」は映画主題曲である。「運命」「くるみ割り人形」

はひとつのクラスに集中しているので学校の音楽教育の影響とみることができよう。

10. 音楽につかう金額(第11表)

まず、子どもたちのこづかいの月額をみると、小学生は平均1,300円弱、まったくこづかいのないもの1.6%、最高5,000円である。中学生は平均2,500円弱、こづかいのないもの0.5%、最高13,000円である。

第11表 音楽のために使う金額

		小 学 校			中 学 校		
		男	女	計	男	女	計
一か月の おこづか い	平 均	円 1,354	円 1,200	円 1,276	円 2,545	円 2,362	円 2,460
	標準偏差	829	632	733	1,189	1,544	1,302
音楽のため に使う お金	平 均	425	644	563	1,357	1,228	1,302
	標準偏差	248	578	489	836	982	900

このうち、音楽につかうこづかいの額をみてもみる。まったく音楽のためにつかわないものは小学生では半分以上、中学生では20%になっている。音楽につかう額の平均は小学生560円、中学生1,300円で、中学生は小学生の倍以上になる。小学生では男子より女子が多く使っており(男子425円、女子644円)、中学生では逆に男子が多くなっている(男子1,357円、女子1,228円)。

11. 学校の音楽について

子どもたちが学校の音楽をどう思っているかを質問した。その結果は第12表である。小学生の女子の半分以上が学校音楽を好きと答えている外は、小学生男子16%、中学生男子13%、女子23%と少なく、学校の音楽が一般に好まれていないことがわかる。

12. 「けいこごと」

音楽に関する「けいこごと」は、男子は5%にも満たないが、女子は30%弱のものが習っている。これは小

第10表-3

大都会—クリスタルキング	さよなら—オフ・コース
贈る言葉—海援隊	なごり雪—イルカ
異邦人—久保田早紀	秋止符—アリス
銀河鉄道999—ゴダイゴ	Let it be—ビートルズ
TOKIO—沢田研二	春ラララー—石野真子

第10表-4 ザ・ベストテン曲名

順位	3月6日 放映	3月13日 放映	3月20日 放映
1	大都会	大都会	大都会
2	TOKIO	TOKIO	贈る言葉
3	おまえとふたり	おまえとふたり	TOKIO
4	セクシーユー	贈る言葉	唇よ熱く君を語れ
5	悲しき友情	セクシーユー	おまえとふたり
6	さよなら	恋	セクシーユー
7	恋	秋止符	秋止符
8	秋止符	さよなら	恋
9	とまり木	悲しき友情	さよなら
10	異邦人	唇よ熱く君を語れ	とまり木

第12表 学校の音楽をどう思うか ()内%

	小学校			中学校		
	男	女	計	男	女	計
好き	19 (16.4)	69 (53.4)	88 (35.9)	16 (13.3)	23 (23.2)	39 (17.8)
嫌い	30 (25.9)	6 (4.7)	36 (14.8)	41 (34.2)	27 (27.3)	68 (31.1)
どちらとも いえぬ	63 (54.3)	52 (40.2)	115 (46.9)	56 (46.7)	46 (46.5)	102 (46.6)
無答	4 (3.5)	2 (1.6)	6 (2.4)	7 (5.8)	3 (3.0)	10 (4.5)
計	116 (100.0)	129 (100.0)	245 (100.0)	120 (100.0)	99 (100.0)	219 (100.0)

第13表 おけいごと ()内%

	小学校			中学校		
	男	女	計	男	女	計
習っている	4 (3.5)	36 (27.9)	40 (16.3)	5 (4.2)	26 (26.3)	31 (14.2)
習っていない	110 (94.8)	89 (69.0)	199 (81.3)	112 (99.3)	72 (72.7)	184 (84.0)
無答	2 (1.7)	4 (3.1)	6 (2.4)	3 (2.5)	1 (1.0)	4 (1.8)
計	116 (100.0)	129 (100.0)	245 (100.0)	120 (100.0)	99 (100.0)	219 (100.0)

中学生とも同様な傾向である(第13表)。かつて「けいごと」をしていてやめた者についても調べたがここでは省略する。「けいごと」の内容は、小・中学校あわせてピアノ45名、エレキギター12名、琴4名、ギター3名で、圧倒的にピアノが多い。

13 両親と音楽

父親と母親のそれぞれにわけて、音楽が好きか、音楽について話しが合うか、一緒に音楽を楽しむかをたずねた。その結果は第14表のようにになっている。父も母も音

第14表 両親と音楽 ()%

	小学校			中学校			
	男	女	計	男	女	計	
父	音楽が好き	84 (73.0)	94 (76.4)	178 (74.8)	83 (72.2)	70 (73.7)	153 (73.0)
	一緒に楽しむ	58 (50.4)	67 (54.5)	125 (52.5)	38 (33.0)	41 (43.2)	79 (37.6)
母	話しが合う	32 (27.8)	36 (29.3)	68 (28.6)	21 (18.3)	30 (31.6)	51 (24.3)
	音楽が好き	94 (81.0)	105 (82.0)	199 (81.6)	81 (68.1)	77 (77.8)	158 (72.5)
親	一緒に楽しむ	67 (57.8)	85 (66.4)	152 (62.3)	36 (30.3)	59 (59.6)	95 (43.6)
	話しが合う	46 (39.7)	55 (43.0)	101 (41.1)	31 (26.1)	41 (41.4)	72 (33.0)

楽が好きが大部分で、好きでないのは20%弱である。音楽と一緒に楽しむことになると、小学生は父親が52%、母親が62%であり、中学生は父親38%、母親44%と減少する。さらに、音楽について話しが合うかということになれば、その割合は少なくなり、小学生は父親30%弱、母親40%強、中学生では父親24%、母親33%である。とくに中学生の男子では話しが合うものが父親18%、母親26%であり、大部分のものが話しがあわなくなっている。父親と母親を比較すると、一緒に音楽を楽しむ、音楽について話しが合うこと、ともに、小学生男女、中学生男女含めて母親の方が約10%づつ高くなっているといえる。

14 今、一番ほしいもの

音楽に関するもので、子どもたちが欲しがっているものをたずねた。第5位までをとりあげてみると第15表-1になる。小学生・中学生ともに「レコード」「ステレオ」が1、2位を占める。中学生はとくに自分専用のものをと記入しているものもあった。小学生は3位が「ラジカセ」であるが中学生は「ギター」が3位である。なお、中学生の「ギター」の中には「エレキギター」「アンプ」も含まれている。なお第15表-2は、1980年現在で調べた価格である。この価格は高級品は上限のはかり知れないものもあるが、販売店で小学生あるいは中学生が普通求

第15表-1 一番ほしいもの ()%

小学校		中学校	
男	女	男	女
レコード 27 (14.7)	レコード 27 (20.9)	ステレオ 29 (24.2)	レコード 36 (36.4)
ステレオ 16 (13.8)	ステレオ 11 (8.5)	ギター 19 (15.8)	ステレオ 16 (16.2)
ラジカセ 9 (7.8)	エレキ 10 トーン(7.8)	レコード 15 (12.5)	ギター 12 (12.1)
ドラム 6 (5.2)	ピアノ 8 (2.3)	ドラム 6 (5.0)	フルート 4 (4.0)
ラジカセ 5 (4.3)	ラジカセ 6 (4.7)	シンセ 5 サイザー(4.2)	ラジカセ 3 (3.0)
ギター 5 (4.3)			テープ 3 デッキ(3.0)
人数 116	人数 129	人数 120	人数 99

第15表-2 価格 単位千円

レコード LP 2.5~2.8	エレキギター 370~
ステレオ 150~200	ピアノ 450~
ラジカセ 50~100	ギター 20~40
ドラム 10~30	シンセサイザー 100~
セット 120	フルート 60~70
ラジカセ 100	テープデッキ 30~50
ギター 20~30	

める価格をしらべたものである。子どもたちの欲しがっているラジカセは5～10万円、ステレオ15～20万円、エレキギター4万、アンプ2万円と高額なものが多いことがわかる。

○中学校教諭のコメント

質問紙の他に、東京都の公立中学校に長年勤務している音楽教諭3名に中学生と音楽生活について話を聞く機会をもった。それを総合するとつぎのようである。

1) 地域差、学校差、個人差があって、「現代の中学生と音楽」と一括してとらえることはむずかしい。しかし、30年近い教師生活をしていて、ここ20年徐々に変化してきており、とくにここ数年急激に変化したといえる。それは、日常生活に音楽が広がってきていることである。深夜放送、FM放送を聞きながら勉強し、音楽ときりはなして生活できなくなっている。これはテレビの影響で一日中家の中に音がしているのに慣れてきているからだと思う。また、ステレオやラジカセの普及、カセットやレコードが自分のこづかいで買えるようになったことも関係している。最近の中学生は、機械にもつよく、相当高価なメカニックなものをいじるようになってきている。

2) 学年差、男女差

中学1年と中学3年では非常な差がある。音楽に費用をかけ、深夜放送、FM放送を聞きくのは中学2年なかばからで、中学3年になると、ほとんどのものが聞く。友だち同志のテープ交換もさかんにってくる。中学3年男子では3分の2のものがエレキギターを持っている。中学2～3年になると、男子の方が女子より音楽と密着した生活をするものが多い。

3) 学校音楽

入学時に調査すると、日常接している音楽を嫌うものは1名もいない。ところが学校音楽になると、男子の半数、女子の数人が「嫌い」と答えている。その理由は、楽譜がよめない、先生がきらい、声が出ないなどである。

学校音楽への興味は、教師の熱意と指導力に依存している。男子はとくにテレがあって導入しにくい、いったん乗ってしまえば、プラスバンドの研究をしたり、むしろ女子より自発的にとりくむようになる。

マスコミ音楽はあそびの音楽で、これを嫌うものはないが、特に好きであっても学校音楽を好きとは限らない。マスコミ音楽と学校音楽は別個である。マスコミ音楽は気楽に楽しむことになり、かえって学校音楽での楽譜のマスターなど強制されるのを固くしく思ってしまう。

とはいうても、軍歌時代とちがって音楽の雰囲気はうえこまれており、抵抗は少ない。フォーク音楽などで感覚的に入っているのでリズム感、メロディのとり方はとても良くなっている。

音楽のクラブでは、現代音楽を好むものが多く、A校では従来の音楽教師が指導できないので外部講師に依頼している。生徒たちの持つギターはフォークギターであるが、学校の教育課程にフォークギターはない。また、旅行などのバスの中では生徒たちは競って歌をうたい、振付けまでつけて歌う。しかし、学校音楽は一切出てこない。

子どもたちには「軍艦マーチ」はパチンコの音楽であり、B校では給食委員に選曲させたレコードを流すと、指導の先生がその曲を止めさせたり、また、C校では文化祭に生徒の要望の多いエレキバンドを禁止する、というように学校側と生徒の間にズレが大きい。

また、名曲鑑賞でも静かな演奏は好まれず、大きい音で激しく、テンポの早いものが好まれるのも、現代の中学生の特徴をあらわしているといえる。

IV 考 察

以上の調査結果により、都市の子どもの音楽に関する生活を、子どもの側から浮き彫りにすることができた。この結果から、つぎのようなことを考察することができよう。

1) 都市の小・中学生の家族は核家族が80～90%であり、子ども数は2人がもつとも多い。子ども数が少ないだけに、音楽に関しても、けいごごとをしているものが多く、音楽の受容器機、楽器も数多く、しかも高価なものを与えられている。なお、小学生の4/5中学生の半数は個室を持っている。

2) 家庭の音楽環境をみると、テレビ98%、ラジオ95%、ラジカセ85%、ステレオ70%と受容器機は豊富であり、両親ともに音楽の好きなものが70～80%である。しかし、子どもが両親と一緒に楽しむということになると半数になり、音楽について親と話が合うものになるとさらに減少して父親とは20%台、母親とは30%台になる。

3) 音楽をきく時間は、平日より休日が多く、休日に小学生は平均2時間弱、中学生平均3時間である。小学生はテレビの音楽番組中心であるが、中学生、とくに男子では深夜放送、FM放送、カセットやレコードで聞く音楽が多くなっている。小学生では家族と音楽を聞くものが半数以上であるのに比べ、中学生は85%のものがひとりり聞いており、特に男子では90%に達している。中

学生になると個室をもち、夜ひとりで音楽をきくことが多いといえる。

4) 子どもたちは、何もしないで音楽を聞いている。音楽がないと勉強に身が入らない、能率が上がらないと答えており、音楽とのかかわりが一時代前と異ってきているのが明らかである。つまり、周囲の音を遮断して注意を集中する人間から、音楽がないと集中できないというように、心的機制が変化してきているのである。ある中学生は、勉強だけでなく音楽がなければ何もできないとまでいっている。

5) 子どもたちの音楽の好みは、マスコミの影響がよく、テレビ、ラジオにひきずられている。とくに、テレビ番組「ザ・ベストテン」は小・中学生の70%がみており、好きな曲・好きな歌手は、調査当時のベストテンと重複している。中学生になると、テレビ番組と関係のないものも2〜3出てきて、メディアがFM放送などに広がっていることがわかる。学校音楽は子どもたちに好まれていない。学校での音楽が好きだとするものは、小学生の女子では50%強であるが、中学になると23%、男子では小・中学生ともに2割に達していない。音楽は生活の中に入っているといえる子どもたちであるが、学校の音楽は遊離したところにあるようである。

6) 音楽への志向は、小学生と中学生では大きく差があり、また、男子と女子でも開きがある。音楽を聞く時間、状態、本人専用の音楽受容器機他、全般にわたって、小学生より中学生、女子より男子に音楽への密着の様子がうかがえる。中学教師たちがいうように、余暇生活への音楽の浸透は中学3年に著しいのであろう。今回の対象は、中学2年生の後期であり、それへの移行期としてとらえることができる。

男子と女子では余暇の音楽、学校音楽ともに差がある。とくに中学生になると男女差が大きくなっている。それは、深夜放送、FM放送への接触、所有するラジカセやステレオ、使用する楽器にもみられるし、家庭で音楽を聞く状況にも明らかである。中学2年の男子は、高

級な機械を操作したり、深夜、勉強しながらひとりで音楽を聞く習慣をもつようになってきている。そして、中学3年になれば、この傾向はますます強められるといえる。

7) 今回の調査で、直接音楽と関係はないが特徴的なものに、理由をきくと「何となく」「かっこいい」といった回答が多くみられた。ムード的、感性的なものが適確に言語化されないままに表現されているのである。中学教師たちも、学校においてもこうした発言が多いと訴えており、現代の子どもの傾向といえることができる。

今回の調査で、子どもたちの生活と音楽が密着していることが明らかになった。とくに中学2年後期を転換期として、孤立して音楽をたのしみ、生活のバックミュージックとするようになってきている。機械につよく、経済的に豊かであり、高級な楽器や音楽受容器機をもっている。これは、ここ10年来急速にみられるようになってきている。子どもたちの好む音楽はマスコミ音楽であり、ニューミュージックであり、あるいはシンセサイザーであり、それは学校音楽、親の音楽の好みとは隔絶している。子どもたちを誰が指導していくのか——、学校も親も子どもの心をつかみえていないのである。この音楽による子どもの余暇生活を適切に指導していくためには、児童館はじめ地域でのさまざまなクラブ活動を組織していくことが必要であろう。この意味では、社会教育活動によせられる期待と要請は非常に大きいといわなければならない。これらの機関におけるオーディオルームの設備（防音装置も含め）とそれによる指導がいま、大切である。これが、学校と家庭の谷間にある子どもたちの音楽生活を満たすことになり、さらには音楽を支柱に子どもの余暇生活全般を通して健全育成の指導が可能になるといえよう。

本研究は、朝日生命厚生事業団の研究助成金をえて行われたものであり、ここに同事業団に感謝の意を表する。なお、本研究の詳細な結果は同事業団報告書にゆづる。

星 他：子どもの音楽接触に関する実態調査

付録 1

音楽についてのアンケート

記入月日 1980年____月____日 _____ 小・中学校 男・女 _____

記入法 1) 答がいくつか用意されている場合は、あてはまるものに○印して下さい。
2) () または [] または _____ のところはできるだけくわしく記入して下さい。

1. あなたの家族について、右の例のように記入して下さい。

続柄	年 齢	職業または学校

例

続柄	年 齢	職業または学校
父	40 歳	銀行員 ()
母	38	な し
兄	16	高校1年
妹	10	小学校4年
祖母	65	な し

2. あなたの家には子どもの部屋がありますか。

(1) 自分ひとりの部屋がある (2) 子どもたちの部屋がある (3) な い

3. あなたの家には次のようなものがありますか、その中であなた専用に使っているものに○印して下さい。

種 類	有	無	あなた専用のものに○印
テ レ ビ	ない	ある (台)	
ラ ジ オ	ない	ある (台)	
ラジカセ	ない	ある (台)	
ステレオ	ない	ある (台)	
テープデッキ	ない	ある (台)	
その他 ()			

4. あなたがいつもきくテレビの音楽番組は何ですか。

(1) _____ (4) _____
(2) _____ (6) _____
(3) _____

5. あなたはラジオで深夜放送をききますか。

(1) よくきく (2) ときどききく (3) ほとんどきかない

6. あなたはFM放送をききますか。

(1) よくきく (2) ときどききく (3) ほとんどきかない

7. あなたは一日に大体何時間くらい音楽をききますか。

学校のある平日………(1) ほとんどきかない (2) きく () 時間くらい

学校が休みの日………(1) ほとんどきかない (2) きく () 時間くらい

毎日音楽をききますか…(1) 毎日きく (2) ときどききく

8. あなたは主にどんなふうにして音楽をききますか。

(1) 勉強しながら (2) 寝床で寝ながら (3) 食事しながら (4) テレビみながら

(5) 遊びながら (6) 何もしないできく (7) その他 ()

(1) 勉強しながらに○印した人はその理由をかいてください。

9. あなたは音楽を主に誰と聞きますか。

(1) ひとりできく (2) 友だちときく (3) 家族ときく—誰と() (4) その他()

星 他：子どもの音音接触に関する実態調査

20. 1) あなたのお父さんは音楽が好きですか。 (1) 好き (2) 好きではない
2) あなたはお父さんと音楽について話しが合いますか。 (1) 合う (2) 合わない
3) あなたはお父さんと音楽を一緒に楽しむことができますか。 (1) ある (2) ない
21. 1) あなたのお母さんは音楽が好きですか。 (1) 好き (2) 好きではない
2) あなたはお母さんと音楽について話しが合いますか。 (1) 合う (2) 合わない
3) あなたはお母さんと音楽を一緒に楽しむことができますか。 (1) ある (2) ない
22. あなたはきょうだいの中で音楽について誰と話しが合いますか。
()
23. その他音楽について思うこと
()